

あかね雲

2024.01.18

NO.188



津和野町／太鼓谷稲成神社

CONTENTS

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| ◆新年のごあいさつ……………P1 | ◆医療安全推進委員会……………P5 |
| ◆理事会報告……………P2 | ◆訪問看護支援センター通信……………P6 |
| ◆島根県看護協会の動き……………P2 | ◆ナースセンターだより……………P7 |
| ◆支部活動報告……………P3 | ◆事務局だより……………P8 |
| ◆職能委員会活動報告……………P4 | ◆研修管理システム「マナブル」導入について……………P8 |
| ◆災害・新興感染症看護委員会……………P5 | ◆お知らせ……………P9 |



新年のごあいさつ

公益社団法人島根県看護協会 会長 池田 康枝



2024年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

会員の皆さまにおかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、島根県看護協会活動にご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症下において、最前線で対応にあたられました看護職の皆さま、またそれを陰で支えてくださった皆さまに、心より敬意を表します。

1992年、深刻な看護職不足に対応するために「看護師等の人材確保の促進に関する法律」（以下、人確法）が制定されました。人確法は、質と量の両面における看護師等（保健師・助産師・看護師・准看護師）の確保対策を推進することによって、保健医療の向上を図ることを目的として制定されました。昨年、その人確法に基づいた基本指針が30年ぶりに初めて改定されました。新たに新興感染症や災害等に備えるための看護職の確保についても項目が設けられ、新型コロナウイルス感染下の看護職の活躍が認められたものと、改めて誇りとやりがい・責任を実感しています。

昨年度、本会に開設しました訪問看護支援センターは、順調にスタートをきりました。ますます需要の高まる在宅医療の要である訪問看護ステーションを引き続き支援していきます。また、コロナ禍での経験を踏まえ、自然災害と新興感染症の両方に対応できる、災害支援ナースの仕組みが法制化されました。災害支援ナース養成研修等、有事に迅速に活躍できる人材育成にも尽力してまいります。

日本看護協会では、2025年に向けた看護の挑戦「看護の将来ビジョン」の総括を行うとともに、2040年を見据えた看護のあり方についての指針策定へ、取り組みが開始されています。本会におきましても、「地域完結型」の医療・介護提供体制の構築や、地域共生社会実現に向けて、限られた人財を大切に育て確保・定着するために、行政と連携し事業の推進に努めてまいります。

今年の干支、辰にちなんだ有名なことわざに「登竜門」があります。中国にある竜門という急流を上ったコイは竜になるという言い伝えから、困難を乗り越えれば大きな成果が得られる、立派になれるということを表した言葉だそうです。コロナ禍で困難を乗り越えた私たち看護職は、辰の後押しを得てますます元気に飛躍した1年にしたいと思います。

今年もどうぞよろしく願いいたします。



令和5年度 第5回理事会報告

【協議事項】

1. 令和5年度重点政策・重点事業の進捗状況(案)について
2. 令和6年度重点政策・重点事業(案)について
3. 令和5年度委員会報告(職能・常任・特別委員会)
4. 令和5年度協会事業・委託事業・ナースセンター事業報告
5. 令和5年度支部事業報告
6. 第17回島根県看護学術集会の開催について
7. 令和6年度日本看護協会名誉会員及び
日本看護協会会長表彰推薦候補者(案)について
8. 令和6年度島根県看護協会名誉会員及び
島根県看護協会会長表彰推薦候補者について

承認

9. 島根県看護協会看護学生奨励賞(案)について
10. 研修管理システムmanaable導入に伴う
研修受講料の見直しについて
11. 令和5年度上期決算の概要・監査報告について
12. 令和6年度支部の予算配分額(案)について
13. 新旅費管理システムの導入について
14. 電子帳簿保存法改正への対応について
15. 島根県看護協会看護研修センター別館に係る
耐震診断について

承認

【報告事項】

1. 日本看護協会第5回(11月)理事会・法人会報告
2. 地区別法人会委員会報告
3. 地区別職能委員長会報告
4. 日本看護学会学術集会報告
5. 都道府県看護協会広報担当役員会議報告

6. 都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会報告
7. 都道府県看護協会危機管理担当者会議報告
8. 令和5年度島根県看護協会会員数(11月末現在)
9. 令和6年度事業計画書及び予算要求書の作成・提出について
10. 看護協会の動き(10-11月)

島根県看護協会の動き(2023年10月・11月)

項目	月 日(曜)	実施事項	出席者	場所
日本看護協会	10月 3日(火)	タスクシフト/シェア全国セミナー	原理事他	WEB参加
	10月30日(月)	2023年度地域に必要な看護職確保推進事業中間報告会	池田会長他	WEB参加
	11月 1日(水)	法人会員連絡会・地区別法人会委員会	池田会長他	徳島グランヴィリオホテル
	11月 2日(木)	看護協会・連盟合同会議、職能委員長会	池田会長他	徳島グランヴィリオホテル
	11月 6日(月)	都道府県看護協会広報担当役員会議	原理事他	WEB参加
	11月8・9日(水・木)	日本看護学術集会	池田会長他	パシフィコ横浜
	11月15日(水)	日看協医療事故調査制度に関する情報交換会	原理事	WEB参加
	11月17日(金)	都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議	原理事他	WEB参加
	11月21・22日(火・水)	日本看護協会理事会・法人会	池田会長	JNAホール
11月30日(木)	地域に必要な看護職確保推進事業説明会	安達NC長他	WEB参加	
島根県看護協会	10月11日(水)	第4回理事会	池田会長他	看護研修センター
	10月12日(木)	圏域別看護関係者連絡会議(雲南)	池田会長他	ホテル上代
	10月14日(土)	島根県看護協会・島根県看護連盟合同研修会	池田会長他	看護研修センター
	10月24日(火)	圏域別看護関係者連絡会議(松江)	池田会長他	サンラポーむらくも
	11月24日(金)	令和5年度上期決算監査会	池田会長他	看護研修センター
島根県	10月29日(日)	島根県総合防災訓練	徳若監事他	安来市ふれあい公園
その他	10月17日(火)	全国女性団体連絡協議会中国ブロック会議	池田会長	出雲市民会館
	10月27日(金)	県立大学法人評価委員会	池田会長	県民会館
	11月14日(火)	看護連盟支部合同会議	原理事	ビッグハート出雲
	11月19日(日)	お仕事体験KIDSフェス2023	安達NC長他	松江市総合体育館
	11月25日(土)	中国四国ブロック看護管理者・教育者看護政策セミナー	池田会長他	出雲ロイヤルホテル

支部活動報告

隠岐支部活動報告

隠岐支部理事 高村 浩美

支部長の任に就き、早半年が過ぎます。新型コロナウイルス感染症の動向に加え、インフルエンザにも注意をはらう日が続いており、感染対策に留意しながらの支部活動スタートとなっています。年度前半は、令和5年度第2回研修会「隠岐の島町役場市民ホール」での現場で使える嚙下の知識と題した研修会を10月14日に開催することができました。とても分かりやすい内容で、介護施設のスタッフの参加もあり、まさに現場で即使える知識となると思います。支部会員の皆様と有意義な時間を過ごすことができました。

町の保健室事業では、イベントが数年ぶりに開催され、10月、11月に島後地区（隠岐病院）、島前地区（ノアホール）それぞれで、「手洗いチェック」「ナース服でパチリ」等の活動を行いました。手洗いチェックでは、汚れの落ちにくい場所等体験者に伝えていきました。「こんなに丁寧に洗っていたら仕事にならない」等の声も住民からは聞かれました。地域の方々の認識にも差があると感じ、繰り返し伝え、啓発し続けることが大切と、活動に意味があることを実感しました。今後も自分たちに何ができるか？考えながら活動に取り組みたいと思います。



出雲支部活動報告

看護活動交流会・「まちの保健室」事業

出雲支部理事 池田 公子

今年度出雲支部では「若手看護職がのびのびと育つ職場環境について～育てる秘訣～」と題し、島根大学医学部看護学科坂根可奈子助教授を講師に迎えて看護活動交流会を開催しました。中堅看護職が疲弊せずいきいきと若手看護職の教育に携わることができるよう、また現代の若手看護職への理解を深めて育てる環境について意見交換を行い、相互に働きやすい職場にするための行動について考えることができました。参加者からは「新人の特徴や強みを理解でき、教育方法について考えることができた。」「心理的安全性を確保し、働きやすい環境にしていきたい。」などの感想があり、実りある研修会となりました。

今年度より本格的にまちの保健室事業も再開し、地域のイベントに参加して血圧測定、健康相談などを行っています。多くの方とふれあい、健康意識の向上について支援できることに支部役員もやりがいを感じています。地域住民にとっても望まれる「まちの保健室」となるよう、今後も取り組んでいきたいと思います。



松江支部活動報告

松江支部理事 福島 菜穂子

2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類相当に移行後、松江支部の活動を従来通りに戻しつつあります。

2023年7月に島根県看護協会ナースセンターから声をかけていただき、高校生対象の進学ガイダンスに参加いたしました。参加した学生の皆さんは若手看護職がその職種を目指したきっかけや学生生活、業務内容、看護観などを熱心に聞き、聴診器やパルスオキシメーターを使用した実技体験に興味深く取り組んでいました。看護職を目指す高校生と接し、私たちも看護職としての誇りや責任を感じることができました。今後もナースセンターと連携し、支部活動として定着させていきたいと思います。

また研修会を2回開催しました。2023年6月に「看護職が行うグリーフケア、心に寄り添うグリーフケア（がん専門看護師 吉本歩氏）」、2023年12月に「認知症高齢者の意思決定支援（認知症看護認定看護師 川島智恵氏）」をテーマとし、どちらも60名を超える参加者があり、関心の高さが伺えました。患者、家族の支援における看護職としての質向上の一助となったことと思います。

今後は「まちの保健室」についても活動を再開する予定としています。



職 能 研 修 報 告

地域を支える
自治体の
保健師になろう!

～地域で働く保健師の魅力発信イベント開催～

保健師職能委員長 藤谷 明子



自治体で働く保健師の人材確保につなげることを目的に「地域で働く保健師の魅力発信イベント」を、令和5年12月2日(土)に出雲市の朱鷺会館で開催しました。

イベントは2部構成で、1部(13時～14時)は全国一斉に日本看護協会が実施し、県保健師活動(神奈川県)、市保健師活動(京都府福知山市)、僻地の保健師活動(鹿児島県十島村)の報告がありました。2部(14時～16時)は島根県看護協会が主催で県内自治体保健師との相談会を開催しました。

県内自治体からは相談ブースとして、知夫村、吉賀町、奥出雲町、出雲市、松江市、島根県の6自治体が参加し、加えて、進路相談ブース、なんでも相談ブースを開設しどんな相談にも対応できるようにしました。参加者は、全県から高校生6名、保護者2名、看護学生1年4名、看護学生2年10名、看護学生3年5名、保健師3名の合計30名の参加がありました。参加者を5グループに分けて、6自治体を各10分ずつローテーションし説明を受ける流れとしました。残った時間はフリータイムで自由に各ブースを回ってもらい、交流をしてもらいました。各自治体は、保健師活動のまとめ、チラシやポスター、スライドショーを活用し、自治体の活動について熱をこめた説明によりPRをしていました。参加者も、ブースを回るごとに質問が多くなり、フリータイムではすべてのブースが相談者で埋まり、終了時間いっぱいまで話をしていました。参加者は、「必ず保健師になりたいです」「〇〇市町村に入りたいです」「今日はとても楽しかった」と言い、自治体側は「学生と連絡をとり手ごたえを得ることができました」というところもあり、この会場に集まったみんなが素敵な顔をして終わることができました。自治体も参加者も両方の本気度が強く響きあう1日で、1人でも多く県内自治体に保健師として就職してくれることを願ったイベントとなりました。

今回のイベントを通して、改めて中高校生等の若い世代に保健師を目指してもらえる啓発活動を推進していくことが重要であると実感しました。



令和5年度助産師職能研修会 報告

助産師職能委員長 落合 永美

令和5年11月12日(日)島根県看護研修センターにて標記研修会を開催しました。参加者は学生4名を含む29名でした。今年度の研修はテーマを「助産師に期待される女性の健康支援とは」としました。女性の健康支援は国をあげての政策の一つになっています。女性が自らの健康に目を向け、健康な身体づくりを行うことはあらゆる世代の女性の健康支援を行う助産師の役割でもあります。

研修内容は、マザリー産科婦人科医院の渋川先生から「女性のライフステージに応じた健康と栄養」について講義していただきました。事例の検査データを示しながら具体的に必要な栄養素について話していただきました。研修後のアンケートでは、「いろんな年代の女性の相談を受ける機会が増えたため研修に参加しました」「講義の内容がわかりやすく自分の生活や仕事に関連した内容であり興味深かった」「自身にも当てはまることもあり、女性の当事者としても注意していきたい」などの感想がありました。

また、研修や意見交換を終えて今後取り組んでみたいことについては、「更年期対象の方への支援」「地域での活動」といった内容がありました。開業助産師の地域での活動は施設の中で働いている助産師には刺激となったようでした。

今後も社会の動向をとらえ、助産師のキャリアアップを図れるような研修を企画していきたいと思いました。



「摂食嚥下障害のある患者の看護」研修

看護師職能II委員長 大越 美香

11月18日(土)、島根県済生会江津総合病院の摂食・嚥下障害看護認定看護師、山本恵美子氏をお招きし「摂食嚥下障害のある患者の看護」研修を開催しました。インフルエンザ流行期と悪天候によるJR運休が重なり、欠席・早退はありましたが、25名の参加がありました。県西部からも参加しやすいように会場を大田市・あすてらすにして、大田・浜田・益田支部からの参加が11名(44%)ありました。

研修は基本をおさえた講義と実践的な演習とメリハリがあり、受講者は食べる姿勢や食事介助方法を確認し、実際に水・プリン・クッキー等を「食べる」ことを意識して食べました。私たち委員は実際に食べる演習があったため、手指衛生・テーブルの環境整備等、感染予防に配慮をしました。

研修後アンケートの「研修は今後の実践へ活かせそうですか」の問いに対し、全員が「活かせそう」という結果でした。自由記載には「資料もわかりやすく、病院にかえり、他のスタッフと共有したい」「実際の演習を行うことでより理解が深まった」「ポジショニングや食事介助の方法などすぐに活かせる内容でしたので、現状を改善していきたい」というご意見・ご感想をいただきました。

「地元の講師」の山本先生は親しみがあり、受講生参画型のリラックス研修でした。今後も明日から実践できるような研修を企画したいと思います。



令和5年度 島根県防災訓練に 参加しました。

委員長 松本 由夏

線状降水帯の発生による大雨により、安来市に被害が集中、市内全域に被害が発生し、救助・救援が必要となるとの想定の下、総合防災訓練が実施されました。

島根県看護協会からは、これまでに災害支援ナースの研修を修了した看護師と災害・新興感染症看護委員会のメンバー8名が参加し、避難所での巡回診療・健康教育・避難所評価などを行いました。訓練に当たっては、安来市医師会とチームを組み、安来保健師や災害福祉ボランティアの方々、日赤等と連携を取りながらできたことで、顔の見える関係づくりができ積極的に参加することができました。日頃から防災・減災に関する研修を受けたり、災害訓練に参加するなど防災意識を高めていくことの重要性を再認識しました。



令和
5年度

「医療安全管理者養成研修」 「医療安全管理者交流会」を開催しました。

医療安全推進委員会
委員長 八澤 順子

11/22 医療安全管理者養成研修

令和5年11月22日(水)島根大学医学部附属病院 医療安全管理部教授の深見達弥先生をお招きし「医療安全管理者研修」の集合研修(演習)を開催しました。この研修は、日本看護協会主催「医療安全管理者養成研修」で診療報酬加算の要件を満たす内容となっており、日本看護協会オンデマンド35時間研修修了者(医師、栄養士、看護職)で県内31名を対象に実施しました。「安全文化の醸成」等の講義後、演習ではグループで与えられた課題をメンバーで団結して達成するteamSTEPPS手法を習得しました。この演習を通して医療安全における患者・家族参加の必要性、コミュニケーションを図り互いに補完する協力体制の必要性が理解でき、チーム医療の重要性、組織における安全文化醸成の課題を認識する機会となりました。

11/23 医療安全管理者交流会

11月23日(木)は、県内看護管理者等を対象に「医療安全管理者交流会」を実施しました。講師は前日の「医療安全管理者養成研修」に引き続き深見達弥先生にお願いしました。講師による「医療における心理的安全性について」の講義後、県内3施設から「インシデントレポート活用、共有方法について」の取組みについて発表があり、各施設の現状と課題について意見交換を行いました。他職種間の連携の困難さ、スタッフ間の情報共有及びルールの周知が困難等の意見や「自分だけで抱えるのではなく、他施設も同じ思いを抱えていることがわかり参加してよかった」という感想もありました。講師から管理者は、安全文化の醸成を促進する役割を担っている・トライアンドエラーで一步踏み出すことで引き出しを多く作ってPDCAサイクルを回していくこと・言葉に出して伝える・2回チャレンジルールのツール等のコメントを頂き、今後の自施設での取組みに繋げることができる研修となりました。このネットワークを活用し、患者の安全を最優先した医療、看護が提供できるように活動を推進していきたいと思えます。



訪問看護支援センター通信

NEW

訪問看護管理者研修を終えて

事業担当 栗谷とし子

今年度より
3日間に拡充 7/16、9/3、10/15

本研修は、日々多重の業務・責務を担いながら管理的要素を学ぶ機会が少なく、孤軍奮闘している訪問看護ステーションの特に新任管理者を支援する目的で企画しました。昨年まで半日であった研修を3日間に拡充し、県内外の6名の講師から「訪問看護の動向と今後の方向性」「島根県の状況」「経営管理・労務管理の基礎知識」「管理者の役割と管理業務の実際」「PDCAサイクルで考える訪問看護ステーションの運営」「課題抽出・分析と今後の目標立案」について学びました。

受講者は訪問看護ステーションに所属する看護管理者または次期予定者で、県全域から32名の方が参加しました。「管理者を担う上で知っておかなければならないことがすべて網羅されていてとても勉強になった」「グループワークはいろいろな意見が聞けて良かった」「仕事に向き合う思いを振り返ることができた。もう少し頑張ろうという気持ちになった」など大変好評をいただきました。

今後もブラッシュアップしながら開催したいと思います。



対面研修でのグループワーク
聖路加国際大学大学院 竹森講師と受講生

「仕事に向き合う思いを振り返ることができた。もう少し頑張ろうという気持ちになった」など大変好評をいただきました。

2023
年度

訪問看護師養成講習会報告

事業担当 栗谷とし子

「訪問看護人材養成基礎カリキュラム」に基づく訪問看護の基礎編ともいえる研修で、訪問看護に就職した人や病院の退院支援に関わる人など、幅広く受講されています。

ご協力いただいた講師、実習施設の方々に心より感謝し受講生の皆様の今後のご活躍を期待しています。

たくさんの学び・感動をもらった研修

法吉訪問看護ステーション 青木未緒



私は一昨年から訪問看護師として働いています。看護の現場を離れた時期があり、フィジカルアセスメントや看護技術に不安があり、先輩の勧めで研修に参加しました。eラーニング・講義・事例検討・実習と充実した内容で、自信を持って日々の観察やケアを行えるようになりました。レポート発表では、病棟・外来・訪問などそれぞれの現場で働く仲間の仕事内容や取り組み・看護のすばらしさや看護師間でも働く場が違うと連携が難しい現状を共有し看護師間の連携を見直すきっかけになりました。そして、この学びや出会いは「看護師としてそれぞれの現場で在宅での生活を支えていく」私たちのみちしるべになったと感じています。私は訪問看護師として実習で教わった「連携は相手をよく知ることを忘れず、病状や在宅の様子や課題が伝わる連携を心掛けていきたい」と思います。

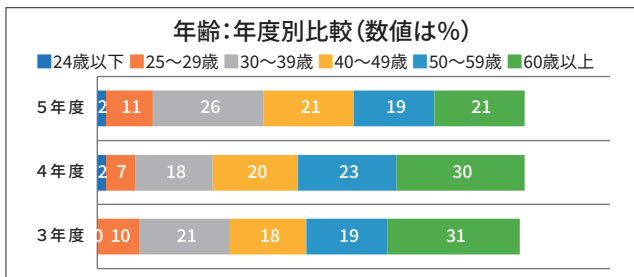
期間	令和5年5月11日～12月20日
受講者の状況	受講者30名、修了者27名
訪問看護実習先	県内19か所の訪問看護ステーション
学びの構成	訪問看護eラーニング+7日間の集合研修+3日間の訪問看護実習+レポート作成・発表会



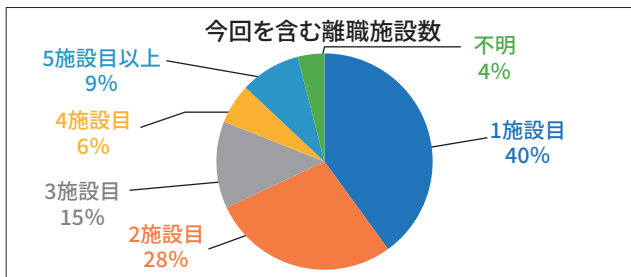
発表会と修了式を終え晴れやかな受講生



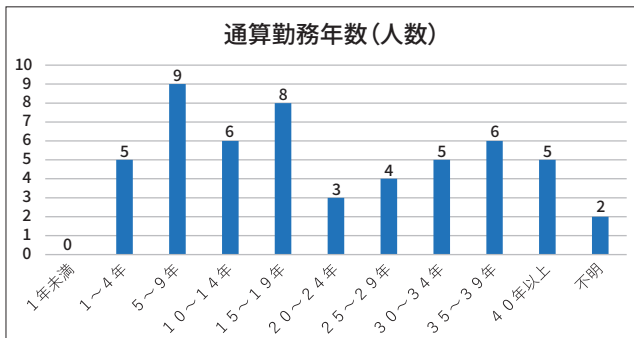
令和5年度看護職離職者実態調査



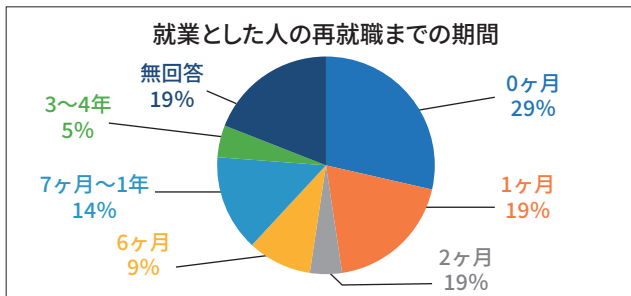
・昨年度に比べ、20代・30代が増加し、50代・60代が減少した。



・5施設目以上の回答割合が増えている。・最大は7施設目であった。



・最短は2年2ヶ月最長は44年。通算勤務年数の平均は約21年。



・再就業までの期間は、「0ヶ月」が最も多く、次いで「1ヶ月」であった。
・24歳から49歳では53%が、50歳以上では28.6%が再就業している。
・定年退職した人8人中、3人が再就業している。

島根県ナースセンターからのお願い

離職時には、次の就業先が決まっても、届け出登録は努力義務です。

届出登録(とどけるん)に登録をお願いします。

看護職の復職支援を円滑に行うために離職時等に届出を行う制度です。



お仕事体験 KIDS フェス

11月19日松江市総合体育館で開催された「お仕事体験KIDSフェス」に島根県看護協会(ナースセンター)も看護のこころ普及事業として、看護のお仕事体験ブースを出展し、61名の小学生が参加してくれました。助産師職能委員の皆さんの協力を得て、「赤ちゃんのお世話」と「薬剤の準備と観察」をしました。「しょうらいの夢は、かんどしです。仕事の内容を知ることができたのでよかったです。」などの感想がありました。



看護職の勤務環境改善事業研修

医療政策課との共催で12月19日、ニューウェルシティ出雲で勤務環境改善事業研修会を開催しました。県内33施設から看護管理者が集い76名の参加がありました。

テーマは「心理的安全性について PartII」。県立中央病院の副院長：磯和理貴先生の講義と、シンポジウムを行いました。昨年本研修会に参加施設から、4施設が「心理的安全性」をキーワードに取り組みを発表されました。

アンケートの結果も好評で、講義や他施設の発表に刺激を受け、変わろう・行動しようとする看護管理者が多く、満足度の高い研修でした。



移動ナースバンク駅前(松江テルサ)会場開設中 **要予約**

日時 2024年 2月21日(水)13:30～15:30 **予約連絡先** 島根県ナースセンター
3月27日(水)13:30～15:30 0852-27-8510

場所 松江テルサ4階小会議室 この相談会はハローワークでの失業手当受給期間の求職活動として認められます。



消防訓練を実施しました

11月28日(火)14時から看護研修センターの消防訓練を実施しました。昨年度、消防署の方から指摘いただいた点をアクションカードに取り入れ、スムーズな通報・避難誘導ができました。訓練用の消火器で使用方法も確認しました。もしもの時に備えながら、今後も火災予防に努めたいと思います。



自衛消防隊長へ
状況報告



消防士さんと協会職員



消火器の使用訓練

島根県看護協会は、次年度から 研修管理システム (manaable) を導入します。

研修の申込受付から受講料納入等、一連について **WEB上で管理** できる方法に変わります。
令和6年度は、一部の研修申込みから開始します。

**ハイブリット型受講を可能にする
研修管理システム**

会員管理・研修管理・申込管理・
決済管理・受講管理・アンケート管理と、
研修管理に必要な機能を網羅しています。

manaable

紹介動画

各施設の
看護管理者等向け説明会
下記日程で開催予定。

日時：令和6年3月18日(月)
14時00分～15時00分

対面またはオンライン

島根県看護協会

新規会員登録

島根県看護協会

島根県看護協会 会員の方は、「会員の方新規登録」ボタンを、
島根県看護協会 非会員は、「非会員の方新規登録」ボタンを押してください。

会員

新規登録

非会員

新規登録

アカウントをお持ちの方は
ログイン

ただいま準備中！

放送大学でキャリアアップも

放送大学では各種資格や学士の取得が可能で、看護関係で主なものは次のとおりです。

看護師国家試験の受験資格(准看護師の方)

放送大学の入学は

年2回(10月・4月)

心理学関係(認定心理士、公認心理師、臨床心理士等)

これまで多くの看護師の皆さんも

利用されています。

学士(看護学)

看護師の特定行為研修

どうぞ、お気軽にお問合せください。



放送大学
ウェブサイト



松江市白潟本町43スティックビル4階

TEL:0852-28-5500

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shimane/>

お知らせ

認定看護管理者教育課程 ファーストレベル問題解決実践報告会

日程:令和6年2月16日(金)
会場:島根県看護研修センター

新卒等訪問看護師育成事業報告会

日時:令和6年3月9日(土) 10:30~12:00
会場:島根県看護研修センター

訪問看護ステーション 出向研修事業報告会

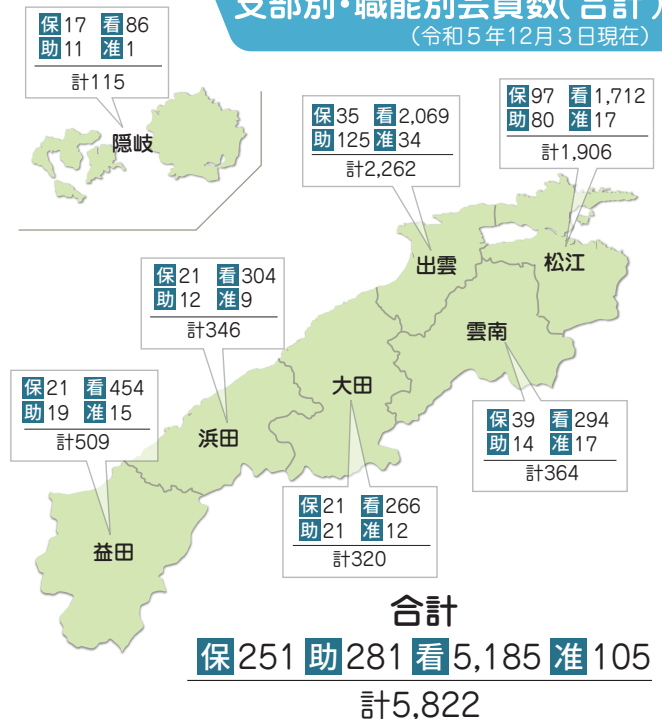
日時:令和6年3月9日(土) 13:30~15:30
会場:島根県看護研修センター

助産師出向支援事業報告会

日程:令和6年3月23日(土) 13:00~15:30
会場:島根県看護研修センター

支部別・職能別会員数(合計)

(令和5年12月3日現在)



編集後記

明けましておめでとうございます。
新型コロナウイルス感染症も5類となり、今年の年末年始は徐々に賑やかに過ごされた方もおられるのではないのでしょうか？
2024年も皆様にとって幸多き年となりますように！
今年も宜しくお願い致します。



【発行日】令和6年1月18日 【発行責任者】池田 康枝 【編集】公益社団法人島根県看護協会

〒690-0049 松江市袖師町7-11 TEL.0852-25-0330 FAX.0852-25-3157

<https://www.shimane-kango.or.jp> E-mail:shimakk@shimane-kango.or.jp

